

建築改修用複層仕上げ塗材

アレスシリコンクラフト

系 統 水性反応硬化型アクリルシリコン系微弾性複層仕上げ塗材

適用規格

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

特 長

- 1) 旧塗膜に対してシーラーレス塗装が可能です。
- 2) 各種下地への付着性に優れ、トマリ性に優れています。
- 3) 長期耐久性に優れています。
- 4) 塗装作業性に優れています。
- 5) 防水性と透湿性を兼ね備えています。
- 6) 防カビ・防藻性を有しています。
- 7) クラック充填性に優れています。
- 8) 緻密で滑らかな肌を有しているため、上塗り塗装時の仕上がりが性(光沢感)に優れています。

塗装条件

塗装方法	ローラー (中毛~中長毛)				
希 積 率	0~3%				
標準所要量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	0.3~0.5				
希 積 剤	上 水				

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。  
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

項 目		温 度	
		23℃	5~10℃
標準塗装間隔	最 短	4 時間	8 時間
	最 長	7 日	7 日
使 用 時 限		—	—

塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	16kg
2 混 合 比	—
3 色	白
4 つ や	無
5 仕 上 が り 感	平 滑
6 塗 料 比 重	1.55
7 溶 剤 比 重	1.00(上 水)
8 加 熱 残 分	72%
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	—
11 有 機 則 / 特 化 則	
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	—

主な適用素材

コンクリート、モルタル、ALC  
(新設の場合は下塗りを使用してください。)

主な適用下塗塗料

エコカチオンシーラー、エポMシーラー、浸透形Mシーラー

主な適用中塗塗料

主な適用上塗塗料

アレスアクアレタン、コスモレタン、コスモシリコン、アレスアクアシリコンACⅡ、セラMレタン、セラMシリコンⅢ、アレスアクアエコシリコン、アレスシルクウォール 等

使用上の注意事項

- 1) 低温時(5℃以下)、多湿時(85%以上)での塗装は避けて下さい。
- 2) モルタル・コンクリート素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製(H-2))または5%以下(ケット科学社製HI-500シリーズ:コンクリートレンジ)まで乾燥させた後、適切な下塗りを塗装後に本品を塗装して下さい。
- 3) 新設素材面や旧塗膜の吸い込みが著しい場合には必ずシーラーを塗装して下さい。(推奨品:エコカチオンシーラー、エポMシーラー)
- 4) 塗装前には漏水処理、クラック処理を行って下さい。
- 5) 旧塗膜のチョーキング層は高圧水洗などで除去して下さい。
- 6) 旧塗膜の浮きは電動サンダーなどで除去して下さい。
- 7) 目違い、段差などは樹脂モルタルなどで補修して下さい。(補修後はシーラーを塗装して下さい。)
- 8) 旧塗膜が弱溶剤(塗料用シンナーA)で簡単に溶解する場合は、上塗りとして水性塗料をお使い下さい。(弱溶剤型塗料を上塗りとして使用しないで下さい。)
- 9) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめご了承ください。